

ふくろう通信—第5号—



2018. 1. 19 発行

編集 兵頭 舞美
広報委員会

RYLA 学友会の創立 10 周年記念式典が9月3日神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて盛大に開催されました。ロータリアン、カウンセラー、RYLA 学友のみなさんに心よりお礼申し上げます。2007 年の創立総会では、RYLA 修了生 57 名、ロータリアン 42 名、第 2670 地区ロータリアン 10 名が参集していました。それに比べてみましても、今回の総会・式典は遜色なかったのではないかと、あらためてみなさまに感謝申し上げる次第です。

今年の会長方針は、「一花五葉を開く」-親睦なくして奉仕なし-です。今まさに、一つの花が咲き、実を結びつつあるのではないかと思います。またその実が芽を出し成長して花を咲かせます。同じようなことをこれからの若い世代に期待するところ大であります。



RYLA 学友会会長 倉本 勉



◇◇純ちゃんの部屋◇◇

「目的は必ずやりとげること」 深川 純一

今回は、私が司法試験の勉強をしていた頃の自分の俳句について話します。恩師高野素十先生の温かい心が身に沁みるものでした。

『素十評』

春燈に繙きし書を梅雨に閉づ 深川^{じょういち}純一

読み終わった書を「閉づ」る時は梅雨の中であったが、その書を「閉づ」る時に、読みはじめた時のこと、春燈の下に繙いたその頃のことを思いかえしたというのがこの句である。

新しい心をもって、この新しい書の第一頁に対したということ、しかもそれが春燈の下であったということ。それはその書に対する時に、いつも心によみがえってくる印象なのであるが、そういう心持をもって、その書に向っての長い間の日々であったのである。「春燈に繙きし」という言葉も美しい。「梅雨に閉づ」という言葉にも詩がある。若々しい心の一学究を想像する。



◇◇今井鎮雄先生からのメッセージ◇◇

—キャンプファイア—



しばらく残り火を見ながら、あなたにとって RYLA とはなんだったかということを考えましょう。

あなたの手をあなたの胸の前でクロスさせて、右の手で左の人と、左の手で右の人と手をつなぎましょう。丁度、薪が組みあわされたように、私達は今、私達の友情によってキャンプファイアの薪と同じような働きをしています。私達は皆さんになんの責任もおわせません。ロータリーのみんがこのような願いをもって世界平和のために、世界の理解のために大勢の人達に力をあわせてほしいと思っていることだけを覚えて下さい。

今、私達が焚いた薪、先程はあかあかと私達の顔を照らしてくれていました。薪もしいだいに薪は自分の体は焼いて残骸となり、灰となりつつあります。人に光を与えたり、人に熱を与えたり、人に何かを与えようとするなら、自分はそのままであってはすまない。薪が自分の体を犠牲にするように私達もなんらかの犠牲を払って他の人達のために奉仕をしなければならない。奉仕の光とはそういうことです。薪は私達に身をもってそれを示してくれました。

もう一つ私たちは薪から学ぶことがあります。この薪は1本では燃えることは出来ないけれど、こうしてお互いが力を合わせて組み合うことによって明るい光をはなちました。皆さんがこれからあちこちばらばらに帰って行ったとき、1人ではとても出来ないと思うこともたくさんあるでしょう。でも RYLA にきた諸君達には仲間がいます。困った時に相談する相手が出来たのです。こうしてお互い同士が組みあった時に皆さん方のコミュニティ、皆さん方の地域社会をあかあかと照らすような大きな業が出来ます。薪が組みあわされて炎をあかあかと輝かすように、私達もこの RYLA の友情をどうぞいつまでもしっかりと腕を組んで頂きたいと思います。

～第6回 RYLA セミナー（1984 年）報告書より抜粋～

RYLA 学友会の発足 10 周年の記念事業についてご紹介いたします。
瀬戸内小豆島に浮かぶ「余島」ここで学んだ RYLA セミナーは、私たちに大きなインパクトと人生の素晴らしい道しるべを与えて頂きました。

はや 40 回を迎えたセミナーは、多くの受講生たちが巣立ち、その学んだ事、一緒に過ごした仲間との思い出は、多くの修了生たちも同様であると思います。

RYLA 学友会が発足して 10 年、この期にみんなで RYLA のふるさと、余島の森での思い出を生涯のものとするため、ホームページをリニューアルし、その中に記念事業として会員専用の「フクロウの巣箱」というネーミングをつけたページを作成しました。このページは、RYLA セミナーの修了生たちが、いつまでもこのセミナーの卒業生として、大切に行きたい故郷をいつでも覗きに行けるバーチャル文庫として運用して行きたいと思っています。

創立 10 周年式典実行委員長 妹尾 達樹
(第 3 回修了生)



前島国際青少年リーダー養成セミナーを終えて ディーン 奥田 裕 (第 34 回修了生)

8 月の真夏日に開催されたこのセミナーは、受講生にとって日常にない経験を通して学びや気付きを得る良い機会になったと思います。班行動で友情を築き、活発な意見交換を深めリーダーとしての素養を身につけていくことが目的です。「平和」をテーマに、講師の方々に実践活動を紹介いただき、多くの発見があったと思います。前方から眺める受講生の表情は、開講式での不安な様子から、プログラムを経て笑顔が見えるようになり、閉講式では 4 日間が終わる寂しさが出ていました。ここで得た経験を今後の活動に活かし、ロータリーファミリーの一員としてローターアクトや RYLA へとつながっていくことを期待しています。



今あのひとは...



沖縄県那覇市
第 31 回修了生
白井達也さん・白井育美さん
(旧姓：安保)

私たちは、第 31 回の RYLA セミナーで同じ班になり家も近かった事から、同窓会の幹事などで親しくなっていました。夫婦として尊敬しあい、本音をぶつけあえるのも、RYLA での時間があつたおかげであると感謝しています。これからの目標としては、夫婦で経営しているブックカフェを通して、地域の人たちへの文化的・精神的な貢献をしていければ...と考えています。



第 39 回 RYLA セミナー修了生歓迎同窓会

近藤 栄人(第 39 回修了生)

第 39 回 RYLA セミナーを終えてからの歓迎同窓会は本当にありがとうございました。現地へ行くまでは、「またグループメンバーやカウンセラーのパパ・ママに会える」と、気持ちは高まっていました。再会でできて嬉しい気持ちはありましたが、セミナーの時と同窓会の時と服装が違っていたため、どこか別の感覚がありました。この時、セミナーで過ごした 3 泊 4 日間の感じは、あの時だけの特別な時間だったと思いました。

同窓会では、39 回生の別のグループや RYLA 学友会の方との交流の場があり、出会いの幅が広がりました。セミナーでの出会いや同窓会での出会いを通じて、私の RYLA 活動への関心が、「いい仲間と楽しむ」気持ちになりました。

今後の予定

- ◆3/10 (日) ロータリー地区大会「ロータリーファミリーの集い」
- ◆3/22 (木) ~25 (日) 第 40 回 RYLA セミナー
- ◆4 月 RYLA 家族例会
- ◆5/24 (木) ~27 日 (日) 2018 JAPAN RYLA
- ◆6 月 学友セミナー

HPリニューアルしました!



[RYLA2680](https://www.facebook.com/RYLA2680)



ホームページ

<http://ryla2680.jp/>

